

NCU DATA BOOK

2021-2022

データで見る名古屋市立大学



- 1 大学憲章
- 2 名市大未来プラン2021
- 3 沿革
- 4 学部・大学院
- 5 学生数
- 6 役員・教職員数
- 7 学部生の出身高校所在地
- 8 卒業後進路
- 9 社会貢献
- 10 留学生・国際交流
- 11 科学研究費助成事業
- 12 共同研究・受託研究等
- 13 附属病院
- 14 蔵書数
- 15 財務状況
- 16 キャンパス面積
- 17 アクセス

1 大学憲章

前文

名古屋市立大学は、自然の恵み豊かな濃尾平野の大地に抱かれた中部圏の中心都市である名古屋市の市民によって、1950年に設立された。

医学部、薬学部からなる公立大学として開学した本学は、名古屋薬学校（1884年開校）と名古屋市立女子高等医学専門学校（1943年開校）を源流とする。その後、地域社会の要請に応じて学術的貢献領域を拡充しつつ、2006年には公立大学法人化を果たし、現在、6学部7研究科を有する都市型総合大学となり、さらなる進化を遂げようとしている。

本学は、これまで一貫して地域に開かれ、広く市民と連携し、協働してきた。科学・技術・芸術・文化・産業・経済の発展と医療・健康福祉の向上に寄与し、それぞれの分野で、知性と教養に溢れ、創造力に富んだ次世代を担う有為な人材を輩出している。

教職員、学生をはじめ、本学に集うすべての人は、市民の付託に応え、真理を探究し、本学が人類の幸福に資する実践的な研究成果を世界に発信する誇り高き「知の創造の拠点」となるため、今後も果敢に行動していくことを誓い、ここに大学憲章を制定する。

2014年10月28日

研究

1. 創造性豊かなトップレベルの研究の実践
2. 地域社会の明るい未来を育む研究拠点機能
3. 国際的・学際的研究への挑戦

教育

1. 個性に即した人生の思考基盤となる教養の涵養
2. 次世代をリードできるバランス感覚に優れた人材の育成
3. きめ細やかで温もりのある教育の実践

社会貢献

1. 地域社会への貢献
2. 研究教育成果の還元

大学病院

1. 安全で開かれた医療の提供
2. 質の高い医療人の育成

国際化

1. 国際社会への貢献
2. 多文化共生社会の実現

大学運営

1. 自主・自律の精神に基づく大学運営
2. 健全な財政運営と施設環境の整備
3. 時代の潮流に応じた改革・改善

2 名市大未来プラン2021

明るい未来を切り拓く48のプラン

本学では、2021年2月に「名市大未来プラン2021」を策定しました。これは、2014年に「名市大未来プラン」を策定してから6年が経ち、本学の現状や社会情勢の変化を踏まえて、本学が進むべき方向性を長期的な視点で示すために策定したものです。

策定にあたっては、全学から教員、メディカルスタッフ、事務職員など、およそ100名が参加し議論を重ねました。

今後、「名市大未来プラン2021」を着実に実現していくことにより、名市大のさらなる明るい未来を切り拓いていきます。



大学憲章との関係性



3つの視点(3S)

本学の今後の全ての活動において意識すべき重要な視点



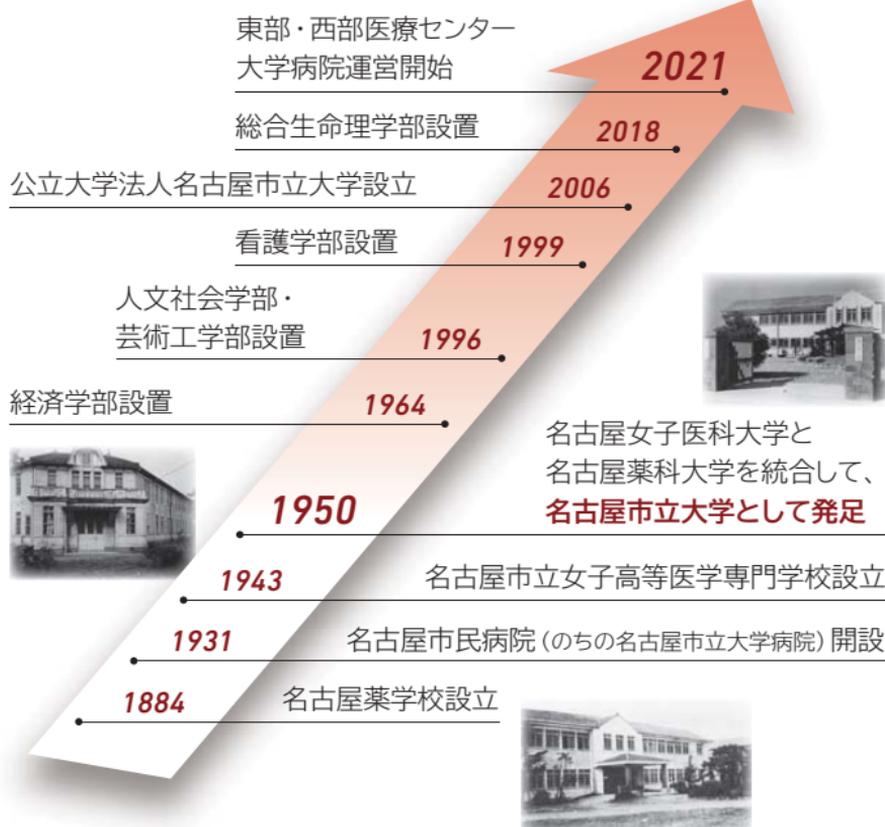
48のプラン

以下8領域で策定した、本学が今後実現を目指す48のプラン

【8領域と、各領域のキーワード】

- 教育：学修者本位の教育の実現
- 研究・産学官イノベーション：先端的な研究による
産学官イノベーションの創出
- 社会貢献：名古屋に育てられ、名古屋をつくる大学
- 国際化：地域に根ざしたグローバルな活動の展開
- 医療：卓越した高度先進医療の提供と地域包括ケアの推進
- 経営基盤：将来の発展を見据えた持続可能な経営基盤の確立
- 組織マネジメント：社会の変化と多様化に柔軟に適應できる組織づくり
- MIRAIへの展開：時代の一步先をデザインし、進化し続ける大学

3 沿革



4 学部・大学院

7学部 7研究科

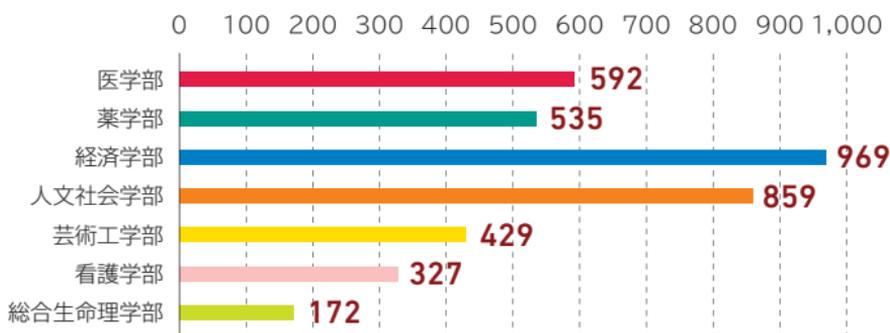
- | | | | |
|------------|-----------|-------------|-----------|
| 学部： | ● 医学部 | 大学院： | ● 医学研究科 |
| | ● 薬学部 | | ● 薬学研究科 |
| | ● 経済学部 | | ● 経済学研究科 |
| | ● 人文社会学部 | | ● 人間文化研究科 |
| | ● 芸術工学部 | | ● 芸術工学研究科 |
| | ● 看護学部 | | ● 看護学研究科 |
| | ● 総合生命理学部 | | ● 理学研究科 |

※7学部7研究科それぞれのカラーを配置しています。

5 学生数

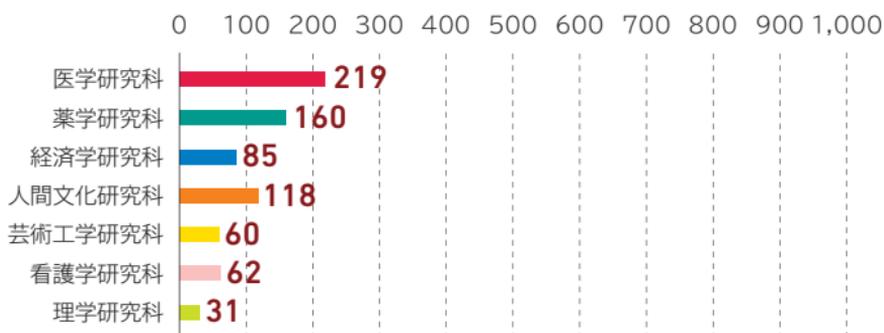
学部生 **3,883人**

令和3年5月1日現在 ※正規生のみ



大学院生 **735人**

令和3年5月1日現在 ※正規生のみ

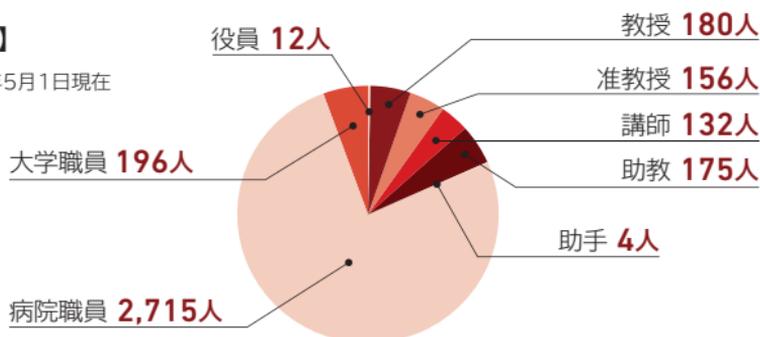


6 役員・教職員数

合計 **3,570人** 内教員数 **647人**

【内訳】

令和3年5月1日現在



7 学部生の出身高校所在地

令和3年5月1日現在

総学部生数
3,883人

東北

9人

北海道

13人

北陸

62人

甲信越

51人

関東

101人

近畿

236人

愛知

県内 **1,323人**

市内 **1,158人**

中国

55人

四国

36人

沖縄

10人

九州

73人

東海

岐阜 **346人**

三重 **218人**

静岡 **112人**

国外など

80人

※第3年次編入学
25名含む

8 卒業後進路

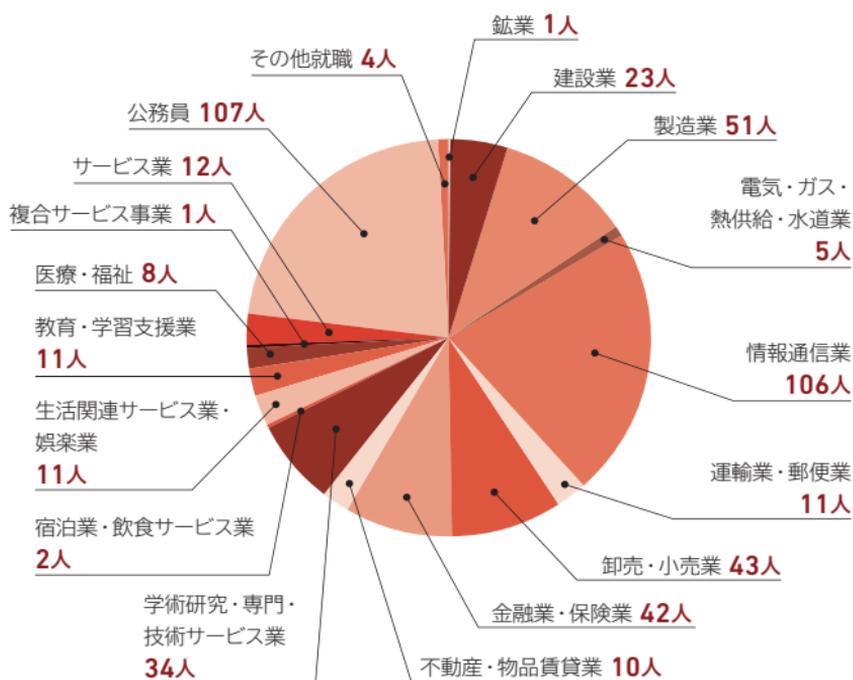
学部卒就職率 **98.6%**

令和2年度

【経済学部・人文社会学部・芸術工学部の分野別就職状況】

就職者/就職希望者

- 経済学部 216人/219人中
- 人文社会学部 200人/204人中
- 芸術工学部 66人/69人中



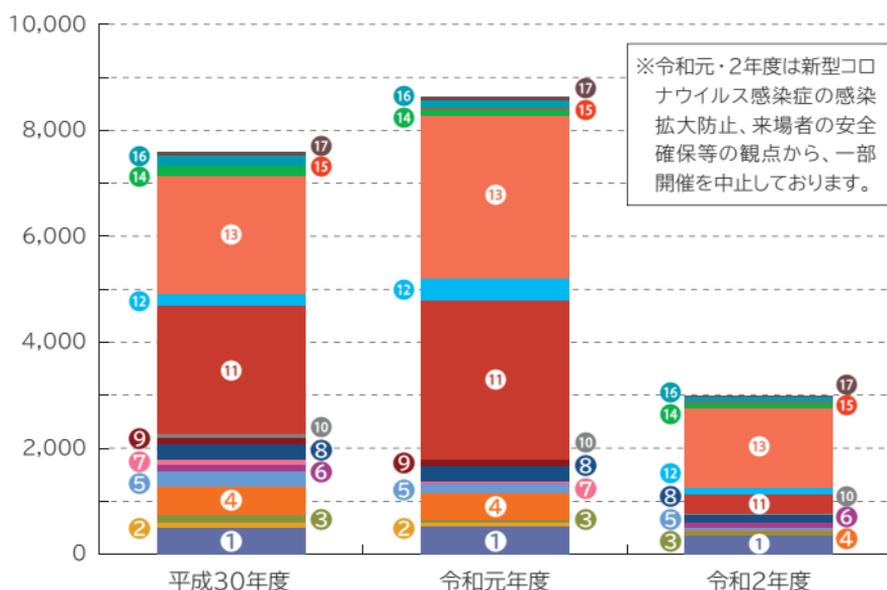
【国家試験合格率】



- 公務員就職者数 123名
- 大学院進学者数 88名
- 学部卒業者数 累計28,828名 令和3年3月31日現在

9 社会貢献

【公開講座開催実績】



1. 市民への生涯学習機会の提供

区分	年度別受講者数		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①市民公開講座	493人	524人	354人
市民の関心が高い、「健康」、「経済」、「環境」、「文化」等をテーマとした講座			
サイエンスカフェ等			
②Human&Social サイエンスカフェ	97人	67人	—
市民と教員がカフェでお茶とスイーツを楽しみながら人文・社会科学系のテーマについて話し合う場			
③マンデーサロン	143人	53人	62人
人間文化研究科の教員をはじめ、連携校の教員や連携先の職員らがスピーカーとなり、学内外からの参加者と知的交流を深める場			
④サイエンスカフェ in 名古屋	525人	494人	25人
市民と科学者が喫茶店でコーヒー片手に気軽に科学について話し合う場			
⑤最新医学講座 オープンカレッジ	296人	189人	47人
基礎・臨床分野が蓄積している最新の研究情報を分かりやすく解説			
⑥なごや看護生涯学習公開講演会	141人	—	100人
地域の保健医療識者が求めている知識、情報、話題などの提供を通じて、医療の質向上に貢献することを目的とした講演会			

区分	年度別受講者数		
	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
⑦地域連携セミナー			
保険医療福祉関連職種の方々や市民と連携して取り組むべき社会的な問題をテーマに開催	84人	46人	—
⑧薬用植物園市民公開			
薬学研究科敷地内にある薬用植物園を公開し、栽培している各薬用植物を紹介	275人	267人	143人
⑨授業公開			
学部学生に開講している授業科目を市民が学生と一緒に受講	142人	122人	—
⑩ひらめき☆ときめきサイエンス			
日本学術振興会との共催により、最先端の研究成果について、小学校5・6年生、中学生、高校生の皆さんに、直に見る、聞く、ふれることで、科学のおもしろさを感じてもらうプログラム	71人	22人	23人
⑪シンポジウム・講演会			
シンポジウムや講演会等を開催	2,415人	3,003人	380人
⑫連携講座			
名古屋市教育委員会、千種生涯学習センター、昭和生涯学習センター等との共催講座	223人	390人	111人
⑬その他公開講座（ワークショップ・セミナー等）			
上記講座以外にも、市民向け公開講座、ワークショップ、セミナー等を随時実施	2,230人	3,090人	1,496人

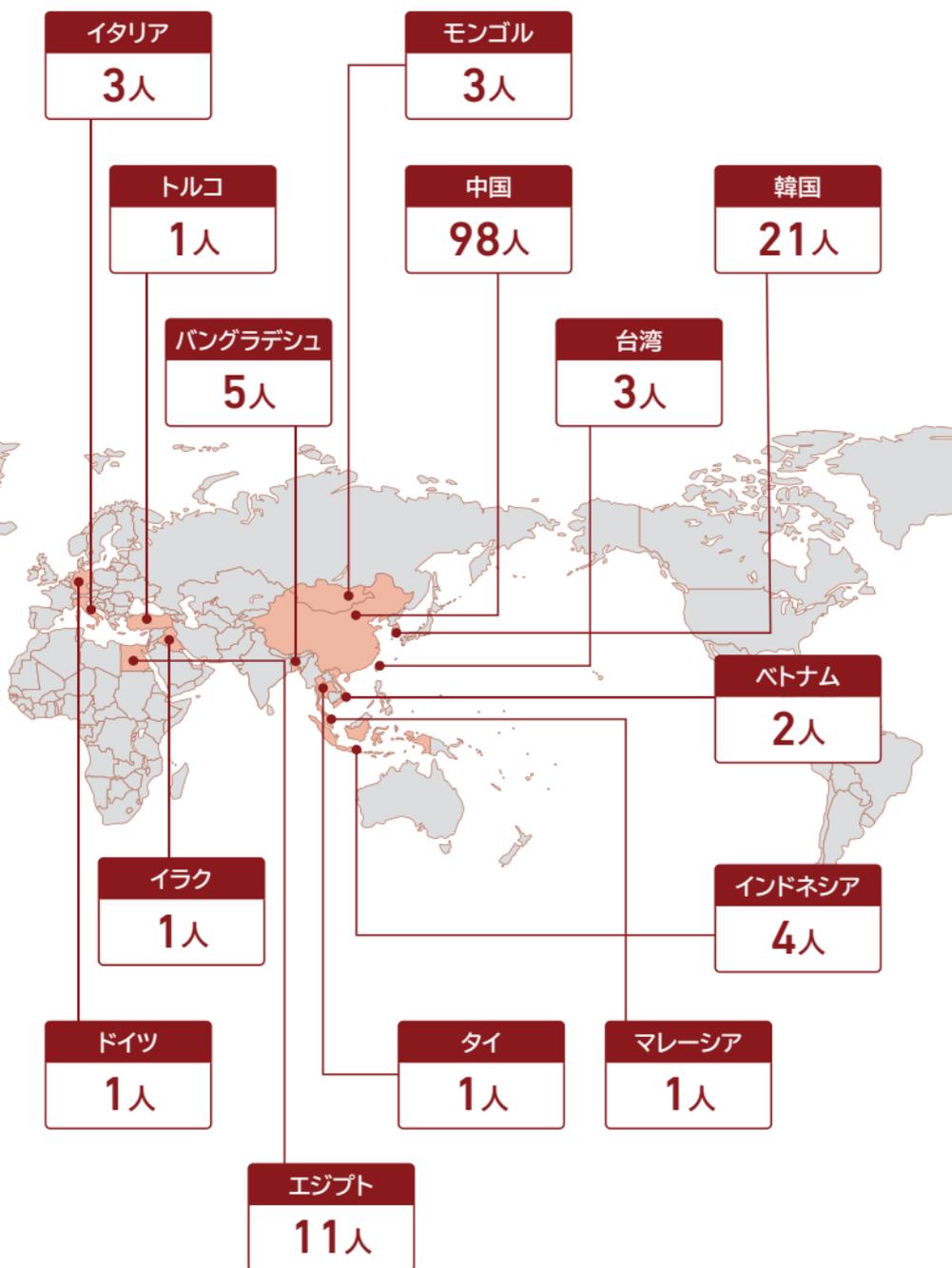
2. 既卒者への学びなおし、リカレント教育講座

区分	年度別受講者数		
	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
⑭名市大 医療・保健 学びなおし講座			
主に医療・保健分野の国家資格保有者を対象とした高度な再教育プログラム	184人	135人	114人
⑮東海薬剤師生涯学習センター講座			
地域の薬剤師に対して、最新の薬学知識や新しい技能の習得を支援。岐阜薬科大学・静岡県立大学との共同事業	19人	15人	15人
⑯名古屋市立大学薬学部卒業後教育講座			
同窓会（薬友会）と共同で、卒業生をはじめとする地域の薬剤師に再学習機会を提供	177人	149人	101人
⑰なごや看護生涯学習セミナー			
地域の看護職者を対象とした資質・能力の向上支援。講座及び講演会を開催	74人	65人	18人

10 留学生・国際交流

外国人留学生数 **155人**

【国別留学生数】 令和3年5月1日現在



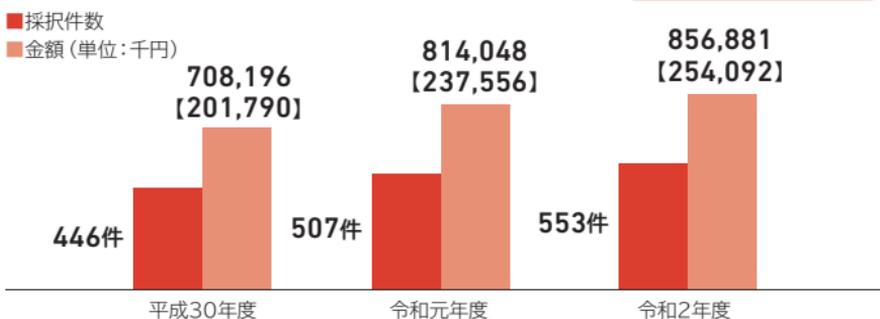
11 科学研究費助成事業

金額 1,110,973千円

【科学研究費補助金等】

文部科学省が所管する「科学研究費助成事業」及び厚生労働省が所管する「厚生労働科学研究費補助金」により助成される「公的研究費」を指します。

獲得金額・採択件数ともに過去最高実績！



※【】内は間接経費（外数）です。

12 共同研究・受託研究等

■共同研究

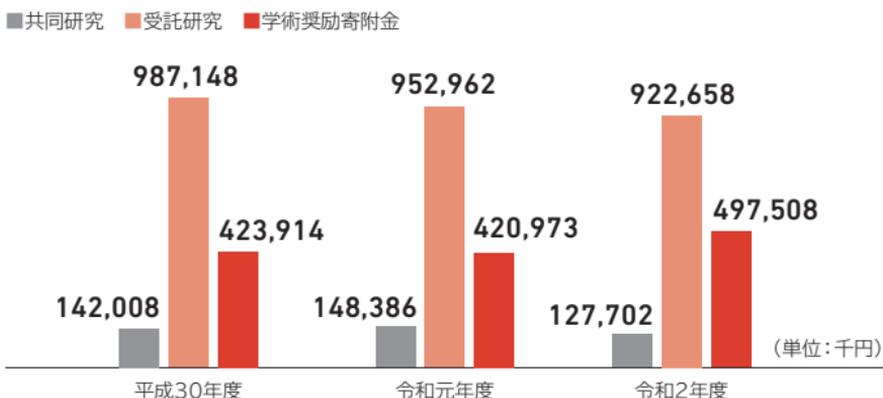
大学の主体性のもと、民間企業等の研究者・研究費を大学に受け入れ、教員と民間企業の研究者が共通の課題について対等の立場で研究を行うものです。

■受託研究

民間企業等から委託を受けて、大学の業務として行う研究で、これに要する経費を当該民間企業等が負担する制度です。

■学術奨励寄附金（研究助成金含む）

学術研究の奨励に使用されることを目的とする寄附金を指します。



13 附属病院

2021年4月、名市大に「3つの大学病院」が誕生しました。



名古屋市長官立大学病院



東部医療センター



西部医療センター

国公立大学で
全国最大規模の
大学病院群

3病院合計病床数 約**1,800**床

令和3年5月1日現在

区分		名古屋市長官立 大学病院	東部医療 センター	西部医療 センター
病床数		800	520	500
入院患者数※	延べ	212,471	129,087	131,004
	1日平均	582.1	353.7	358.9
外来患者数※	延べ	424,999	200,235	276,694
	1日平均	1,741.8	824.0	1,138.7

※令和2年4月～令和3年3月

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入院患者数、外来患者数ともに例年に比べ減少しました。

14 蔵書数



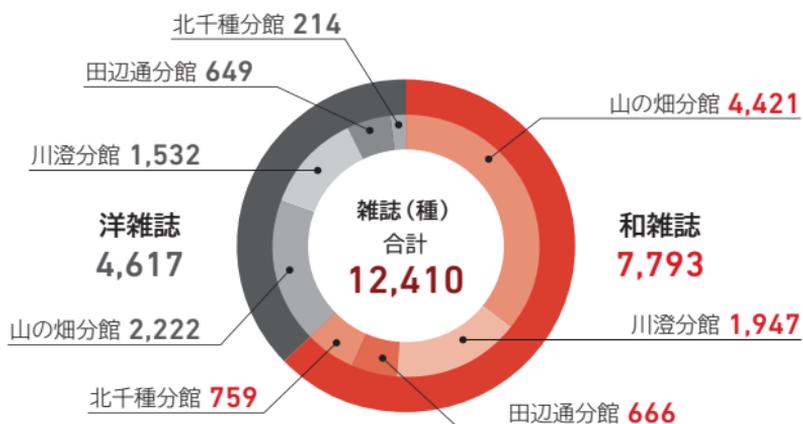
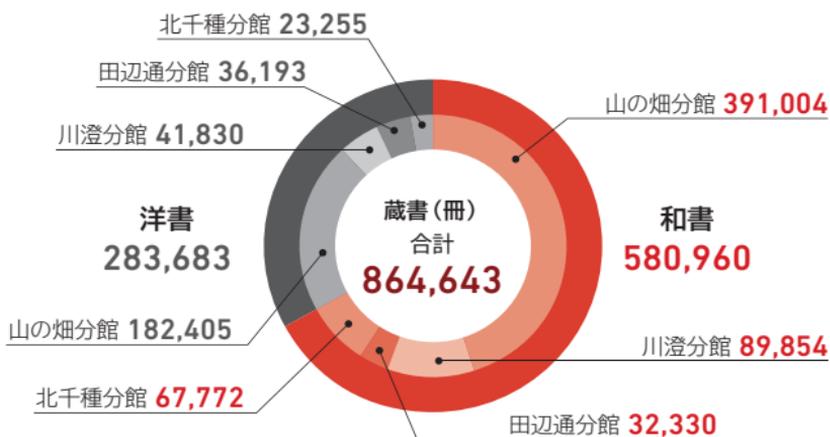
田辺通分館



北千種分館

4つのキャンパスそれぞれに山の畑分館、川澄分館、田辺通分館および北千種分館が設置されており、専門分野の図書・雑誌を収集・保管しています。また、学内LANに接続されたパソコンから電子ジャーナルを利用することができます。

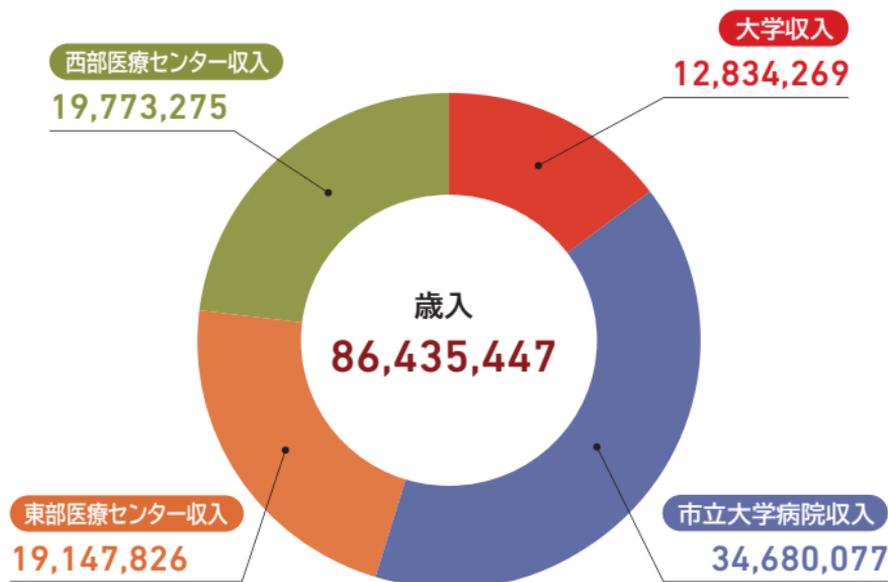
令和3年3月31日現在



15 財務状況

【令和3年度当初予算額】

(単位:千円)



16 キャンパス面積

総面積 約**26万**m²



桜山(川澄)キャンパス



滝子(山の畑)キャンパス



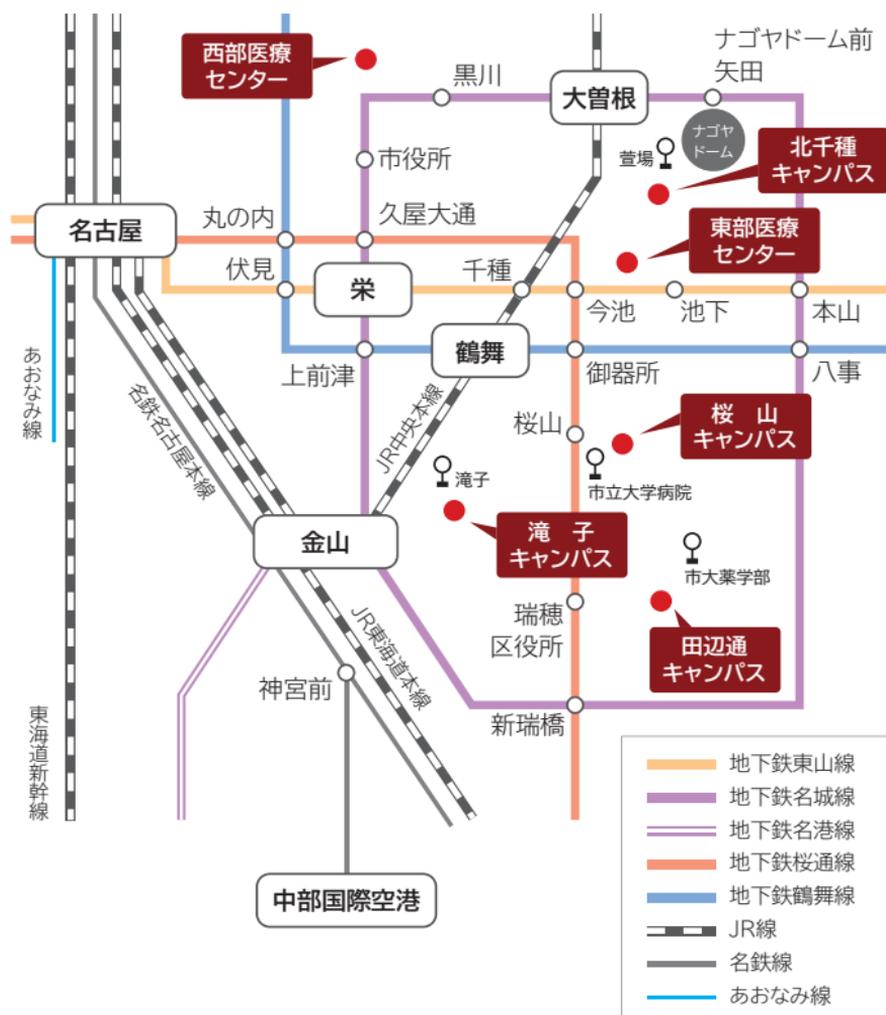
田辺通キャンパス



北千種キャンパス

桜山(川澄)キャンパス	65,938.98m ²
滝子(山の畑)キャンパス	63,587.59m ²
田辺通キャンパス	46,571.96m ²
北千種キャンパス	25,967.63m ²
東部医療センター	27,609.31m ²
西部医療センター	27,652.24m ²
その他	2,596.06m ²
合計	259,923.77m²

17 アクセス



桜山 (川澄) キャンパス

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

田辺通キャンパス

〒467-8603

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

東部医療センター

〒464-8547

名古屋市千種区若水一丁目2番23号

滝子 (山の畑) キャンパス

〒467-8501

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

北千種キャンパス

〒464-0083

名古屋市千種区北千種二丁目1-10

西部医療センター

〒462-8508

名古屋市北区平手町1丁目1番地の1

連絡先: 事務局大学管理部企画広報課

TEL 052-853-8328

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

■全学ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

